

講師派遣事業がスタートしました。

平成18年度から開始した「講師派遣事業」の実施状況をお知らせします。この事業は、企業や事業所などで実施される男女共同参画に関する講演や研修会等に対し、講師等を派遣するものです。以下の3つの事業が行われました。いずれの事業も、参加者は熱心に聴講されて実りある内容でした。これから、社内研修など予定している企業等の皆さんもこの「講師派遣事業」に応募してはいかがでしょうか。詳しくは男女共同参画課まで問合せください。

- 1月21日(日) 山形商協同組合
- 健康講座：
アルコール百薬の長、されど万病のもと
- 講師：後藤 裕 氏(医師)



- 2月14日(水) (特)やまがた育児サークルランド
- 講演：
子育てと男女共同参画について
- 講師：阿部 康子 氏(大学教授)



- 2月14日(水) 山形商工会議所
- 講演：
雇用と男女共同参画について
- 講師：高木 直 氏(大学教授)



いきいき山形男女共同参画プラン実施計画 平成17年度 進ちよく状況調査報告

山形市では、平成13年2月に平成22年を目標とする「いきいき山形男女共同参画プラン」を策定し、プランに示した具体的な施策を着実に実行するために、平成17年度までを推進期間として実施計画を決定しています。実施計画の進ちよく状況は、山形市男女共同参画推進本部が年1回全庁的な調査を行い、自己評価します。評価の方法は、数値で表すことのできる指標を設定しており、その数値の増減とそれぞれの指標に掲げている数値目標への達成度合により評価しています。主な評価内容は次のとおりです。

いきいき山形男女共同参画プラン実施計画平成17年度進ちよく状況評価(主な評価)

目標	指標	現状値 (平成16年度)	現状値 (平成17年度)	評価	目標値 (平成22年度)
I 人権の尊重と男女平等の意識を確立します	社会全体での男女平等と思う人の割合	-	12.4%	平成17年度調査により「社会全体での男女平等と思う人の割合」は、12.4%となった。この数値は、平成16年度の全国調査20.1%より低い状況であり、目標20%に向けて今後とも継続して意識啓発に取り組む必要がある。	20.0%
II あらゆる分野に男女共同参画を推進します	市の審議会等における女性委員比率	30.6%	31.7%	女性委員の登用については、関係課において積極的に取り組んだことにより、「市の審議会等における女性委員比率」が昨年に引き続き過去最高の31.7%となった。平成22年度までの目標40%へ前進している。	40.0%
III 働く男女の真のパートナーシップを実現します	男性も育児・介護休業を積極的に利用すべきであると考える人の割合	-	17.4%	平成17年度調査により「男性も育児・介護休業を積極的に利用すべきであると考える人の割合」が17.4%となった。同調査で、「男性も育児・介護休業が取れることは賛成だが、取りづらいと思う」と答えた人が74.0%にもなっていることから、事業所等に対し、休業制度の活用について、意識啓発等働きかけていく必要がある。	20.0%
IV 健康づくりと自立のための支援を推進します	妊娠・出産は社会的に重要で、社会全体で支えるべきであるとする人の割合	-	78.0%	平成17年度調査により「妊娠・出産は社会的に重要で、社会全体で支えるべきであるとする人の割合」は、78.0%となった。8割近い割合となっているが、さらに目標90%に向けて意識啓発に取り組む必要がある。	90.0%
V みんなの力で計画を推進します	いきいき山形男女共同参画プランを知っている人の割合	-	42.4%	平成17年度調査により「いきいき山形男女共同参画プランを知っている人の割合」は、42.4%となった。ある程度周知されているが、さらに目標60%に向けて、一層啓発に取り組んでいく必要がある。	60.0%



親の視点ではなく 子どもの視点で… 子どもの立場になって始めたのが 「病後児保育」です。



昨年6月に開始された病後児保育。母親アンケートでトップだった病後児保育だが…現在登録人数140名。利用延べ人数84名(内リピーター多数)。何故、利用人数が増加しないのか?どこに問題があるのか?実施施設の社会福祉法人キンダー伸誠会(キンダー保育園)理事長海和宏子さんと副理事長海和伸吉さんに話を伺いました。

● 利用が伸びないのはなぜ?

事前登録申込み窓口が市役所の児童福祉課とキンダー保育園の2箇所、どちらにも行くことが出来ない人もいます。「お医者さんに診せて」「保護者が自分で病後児保育用の連絡票に記入して預けなければならぬ事が面倒、定員が限られているので(一日4名)空いていないのではと不安、利用料金の一日2000円(その他給食費等実費)が高いと考え、医師が勧めたいと思ってても利用料が発生するので躊躇してしまふ、というふうな事が考えられます。

● 病み上がりリッスを大切に

親は看病していてやっと山が過ぎると安心してしまつのは当然ですがそこが落とし穴、山を越えた病み上がりリッの一日二日が大切です。完全に治りきらないうちに保育園に来てみんなと遊んでしまふ次の病気になるってしまうケースや、他の子どもに病気が移るといことがたくさんあります。仕事や家庭の事で大変な両親のサポートをして、「まだ、元気ではないのに」「もっとゆっくりしたい」という子どもの心の声を聞いてやりたい、それが病後児保育です。



病後児保育室
右のベッドが3歳以上児用、左のベッドが3歳未満児用。それぞれ個室になっています。

● 保育サービスを充実

内容はポスターだけではなかなか理解してもらえないが、設備はもちろん保育士、看護師を常駐し部屋も使用する以外に立入らない、セキュリティも万全にし傷害保険も責任上必要なので保育園独自(料金には含まない)で入っています。

伝染性のある病気の子どもの看るときは、移らないよう他の病気の子どもは預からないようにしています。

● もっと利用できるよう努力してゆきたい!

「自分も仕事をしなければいけないが、子どもも良い環境で少しでもゆっくりさせてやりたい。自分が子どもを看れない時、誰か見てくれるんだろ?」と両親は悩んでいます。そのためにも改善策が必要になります。まずは登録申込みなどの窓口を一本化する方が良いのでは?利用料についても乳児医療と同じように病後児保育も考えていただけるよう市に働きかけて行きたいと思っています。今後とも認知度を高める努力をして行きたいです。

● 取材を終えて

育児をとうに終えてしまった身にとって「ああすれば良かった」と後悔することばかり。やり直しがきかない育児は親にとって苦しみも多いが人生で一番幸せな時期だということをお忘れしないで大切に過ごさなければならぬと思います。せっかくならばらしい施設の病後児保育があっても利用できなかったら何もしないのです。両者が歩みよりこれから病後児保育施設がふえて行くことが望ましいと思います。